

名古屋市のがん検診

I がん検診を受けましょう

- 1) 早期発見・早期治療によって、がんで亡くなる方を減らすことができます。
- 2) 早期であれば治せる可能性は非常に高く、治療も軽く済むことが多いです。
- 3) 対象の年齢になったら、ぜひがん検診を受けましょう。

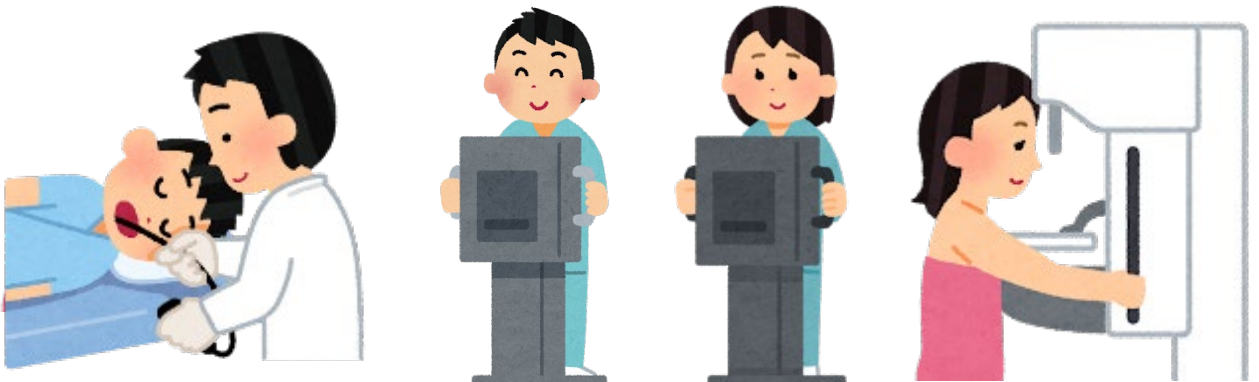
II 名古屋市のがん検診

1) ワンコインがん検診

※職場等で受診機会のない方

事業	内容	対象者	受診回数	自己負担金
胃がん検診	エックス線検査	40歳以上の市民	年度に1回	500円
	内視鏡検査 (胃カメラ)	50歳以上の市民	2年度に1回	
大腸がん検診	問診、便潜血検査 (2日法)	40歳以上の市民	年度に1回	
肺癌・結核検診	問診、胸部エックス線 検査 必要な方に喀痰細胞診	40歳以上の市民	年度に1回	
子宮がん検診	頸がん検診：問診、視 診、内診、頸部細胞診 体がん検診*：子宮内 膜細胞診	20歳以上の女性市民	2年度に1回	
乳がん検診	マンモグラフィ検査	40歳以上の女性市民	2年度に1回	
前立腺がん検診	問診、前立腺特異抗原 (PSA) 検査	50歳以上の男性市民	年度に1回	

*子宮がん検診について 体がん検診のみでは受けられません。頸がん検診の問診で医師から必要と判断された方で受診に同意した場合のみ受けられます。



2) 無料クーポン

特定の年齢に達した名古屋市民の方に対して、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、前立腺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診の費用が無料となるがん検診無料クーポン券が送付されます。

無料クーポンが届いた年度は、無料で対象のがん検診が受けられます。

胃がん検診	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳
大腸がん検診	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳
肺がん検診	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳
前立腺がん検診	50歳、55歳、60歳
子宮頸がん検診	20歳、25歳、30歳、40歳
乳がん検診	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳



(注) 胃がん検診について、50・55・60歳はエックス線検査か内視鏡検査のどちらかを選択できます。40・45歳はエックス線検査での実施のみとなります。

3) 胃がんリスク検査

胃がんリスク検査は、胃がんのリスク因子とされるピロリ菌の検査と、胃粘膜の萎縮度を調べるペプシノゲン検査を組み合わせ、胃がんになるリスクの高さに応じて「A群」・「B群」・「C群」・「D群」の4つに分類する検査です。

(胃がんリスク検査は、現在胃がんかどうかを調べる検査ではありません。)

事業	内容	対象者	受診回数	自己負担金
胃がん リスク検査	問診と採血	40歳以上59歳以下の市民 (年度末時点の年齢)	対象年齢の 間に1回まで	500円

問診、採血によるピロリ菌抗体検査及びペプシノゲン検査

(血液中のピロリ菌の抗体量及びペプシノゲン値を測定します)

4) ピロリ菌検査

ピロリ菌に感染していることで、胃がんのリスクがあります。ピロリ菌検査をすることで、感染していても早めの除菌治療によりリスクを低減することができるとされています。

(ピロリ菌検査は、現在胃がんかどうかを調べる検査ではありません。)

事業	内容	対象者	受診回数	自己負担金
ピロリ菌 検査	問診と採血	20歳以上39歳以下の市民 (年度末時点の年齢)	対象年齢の 間に1回まで	無料

問診、採血によるピロリ菌抗体検査